

逗子アートフェスティバル 2026 テーマ

はじまりの未来、
はじまりの場。



逗子アートフェスティバル 2026テーマ

未来は、
過去と切り離された時間ではない。

無数の“はじまり”が重なり、
「いま、ここ」が存在している。



出展)フランシス真悟 ZAIM 2007

「過去はいつも新しく、 未来は常に懐かしい。」

森山大道（写真家・逗子在住）

森山大道展 逗子「Vol.2」
Daido Moriyama photo exhibition Zushi "Vol.2"

2021年5月1日(土) - 5月31日(月)
12:00-18:00 休廊:5月11日(火) 18日(火) 25日(火)

森山大道
1938年大坂府池田市に生まれる。デザイナーから転身、菅宮武二、細江英公の助手を経て、1964年にフリーの写真家として活動を始め、1967年「たっぴん劇場」などのシリーズで日本写真批評家協会新人賞を受賞。近年では国立国際美術館(2011年)、テートモダン(ロンドン)で行われた「クワリム」などの合同展(2012、13年)、大規模な展覧会を開催。また国際写真センター-Infini award功労賞(2012年ニューヨーク)、ハッセルブラッド財団国際写真賞(2019年スウェーデン)、朝日賞(2020年)など受賞多数。

zushi art gallery
〒249-0006 神奈川県逗子市逗子5-11-31
090-1652-9046

※西村陽一郎展「貝殻」同時開催
Yoichiro Nishimura photo exhibition "Shell"

© Daido Moriyama Photo Foundation

出展) zushi art gallery 森山大道「逗子 Vol. 2」展(2021)より

逗子アートフェスティバル 2026テーマ

海と山に抱かれ、
多様な生活と文化が交差するまち。

ZAFの継続により逗子から、
対話と表現が生まれる土壌が育まれている。



逗子アートフェスティバル 2026

このまちには、
時間と記憶の「場」が点在し重なりあっている。

活用されていなかった、歴史的建造物日本多邸、沼間の空家、池子米軍住宅共有使用地、シネマ・アミーゴ。



逗子アートフェスティバル 2026

「はじまりの未来」を象徴する展示

R.バックミンスター・フラーの大型絵本石版画

「テトラスクロール」

旧本多邸居間

特別監修・協力：芹沢高志 / P3 art and environment



逗子アートフェスティバル 2026

ZAFは、表現者の視点が交差する場

森山大道/栗林隆/ブルースオズボーン/潘逸舟/フランシス真悟/・・・



逗子アートフェスティバル 2026

ZAFは、市民が自ら、視点が少し変わる場をつくり続ける。

市民から立ち上がる自由企画「全ての人アーティスト・表現者」になる。

障害の有無や世代を超え表現する「みんなでアート」

高齢化・空家の山間地に新しいコミュニティを育む「沼間路地展」



逗子アートフェスティバル 2026

ZAFは、出会いと体験の場

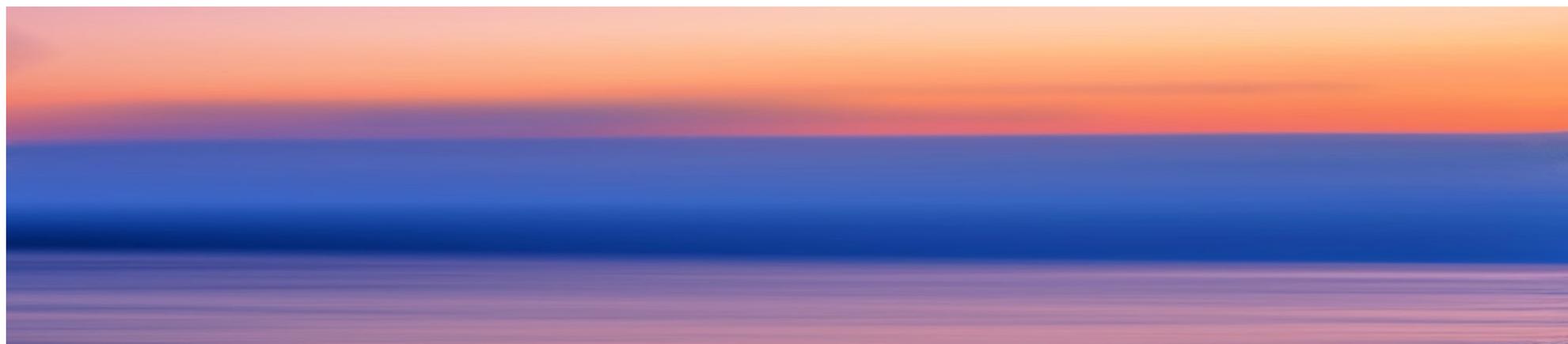
米軍住宅共用地での「池子の森の音楽祭」
ZAFの国際ネットワークから広がるアーティスト・イン・レジデンス



逗子アートフェスティバル 2026・2027・2028へ すべて参加者への投げかけ

みんな、ひとりひとりにとっての
「はじまり」は何ですか。

日常の一瞬。あるいは、宇宙、生命・いのちの誕生。



以上10ページ、以降、補足のためのプレゼン資料

逗子アートフェスティバル 2026

時間・場所・人が重なる「はじまりの場」をひらく。

オープニング・アクト

《Beyond “documenta fifteen”》

志津野雷CINEMA CARAVAN + notremusica orchestra



逗子アートフェスティバル 2026テーマ

不確実さ非対話が日常になってしまった時代に、
アートは
新しい視点が生まれる「場」であり続ける。



出展) ©Ishu Han 《戻る場所》(2011)